

栗原北スタンダード



子供達にとって安心して学べる環境づくりを目指して

学習の準備

筆箱の中

- ① 鉛筆5本（B，2B） シャープペンやロケット鉛筆は不可。
遊び道具になるような鉛筆は不可。
鉛筆を持ったときに、指の股からでない短い鉛筆は不可。
 - ② 赤鉛筆又は赤ボールペン（ボールペンは5年生以上）
（3色ボールペン，蛍光ペンは，高学年に限り学年裁量で使用可）
 - ③ ネームペン
 - ④ 消しゴム（遊び道具になるような消しゴムは不可。）
 - ⑤ ものさし（15cm程度で透明なもの。2つ折りのものは不可。）
- ※筆記用具は，シンプルな方が望ましい。

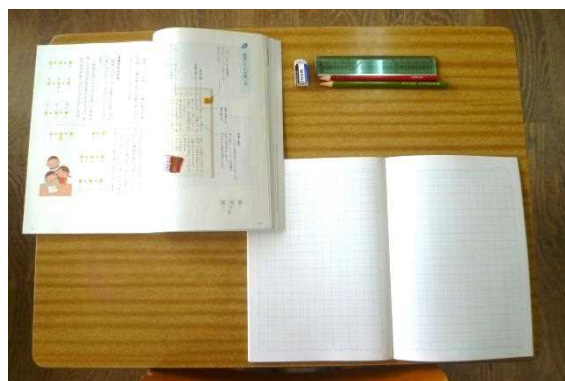
- ・全て記名させ，不要な物を入れないよう指導する。（鉛筆ホルダーなど）
- ・持ち物が整わない児童は，保護者に連絡をして協力をお願いする。
- ・次の授業の準備をしてから休憩をする。
- ・授業中，机の上には教科書，ノート，下敷き，鉛筆1～2本，赤鉛筆（赤ボールペン），消しゴム，ものさしのみを出し，筆箱は机の中にしまうことを基本とする。しかし，実態に応じて，筆箱を机上へ出す場合は，学年で統一しておく。
- ・筆箱の中身については，4月当初の学年通信にて保護者へ伝え，児童へ指導する。

<授業準備>



※上から教科書，ノート，下敷きの順に重ねる。

<授業中>



※左利きの児童は，上記とは逆になる。

<鉛筆の長さ ○>



<鉛筆の長さ ×>



学習の始めと終わりのあいさつ

- ・休憩後，チャイムが鳴る前には自分の席に着いておく。日直は前に出る。
- ・チャイムが鳴り始めると同時に，日直が号令をかける。

<授業始めの号令のかけ方>

日直：「起立。」「立腰。」（立腰をする。）

日直：「黙想。」（目を閉じる。30秒を目安。）

教師：「黙想，止め。」（目を開ける。）

日直：「これから〇時間目の〇〇の勉強をはじめます。」

皆：「はい。」

日直：「礼。」「お願いします。」

皆：「お願いします。」（1・2・3・4のタイミングで礼をする。頭を上げたとき，日直や教師と目を合わせる。）

日直：「着席。」

<授業終わりの号令のかけ方>

日直：「起立。」「立腰。」（立腰をする。）

「これで〇時間目の〇〇の勉強をおわります。」

皆：「はい。」

日直：「礼。」「ありがとうございました。」

皆：「ありがとうございました。」（1・2・3・4のタイミングで礼をする。頭を上げたとき，日直や教師と目を合わせる。）

日直：「着席。次の授業の準備をしましょう。」

<その他>

- ・授業中も「立腰」を意識させる。

座り方について，細かなところまで意識できることが，学習力を伸ばします。



教室掲示

- 教室の前面は、児童が常に目にする場所であるので、心を落ち着かせて授業をするために、すっきりとした掲示にする。
- 黒板上部には、中央に学校教育目標 右側に学年目標を掲示する。
- 児童が集中して板書を活用できるように、黒板には、大量の磁石やプリントを貼ったままにせず、整理・整頓しておく。
- 黒板下は、チョークの粉が溜まりやすいので、毎日掃除を行い、荷物等を置かない。



児童にとって、学校生活を送りやすくなる掲示物については、黒板の両サイドに、整理して掲示する。



低学年は、黒板の下に踏み台を置いている。それ以外の物は、黒板下には置かない。

教室環境



○机の横（通路側）に物をかけない。



- 物の引っ掛かりによる転倒防止
- 机周りの整理整頓



○道具の向きをそろえて片付ける。



- 絵具道具などの紐の引っ掛かりによる転倒防止
- 共有スペースの整理整頓



○水筒の紐は、くるくると巻いて片付ける。



- 水筒の紐同士が絡むことによる転倒や破損防止
- 水筒箱の整理整頓

×

○



○ロッカーからひもを出さない



- 物の引っ掛かりによる転倒防止
- 自分のロッカーの整理整頓

ノート作り

★ノートを読み返すと、前に学習したことを振り返れるようなノート作りをめざそう。

①基本的に1時間に見開き2ページに書くようにします。

②「めあて」「まとめ」「練習問題」「振り返り」を書きます。

③「めあて」「まとめ」は、直線で赤で囲みます。

④線は、定規を使って直線で引きます。

⑤自分の考えを書きます。

友達の考えは、名前も入れて赤で書きます。

⑥振り返りでは、分かったこと、できたこと、友達の考えを聞いて考えが変わったこと、次に生かしたいこと、もっと学習してみたいことなどを書きます。

★国語・算数の例を参考にして、学年実態に合わせて、ノートを作りましょう。

〈ノート作りに必要な項目〉

- 学習した日付
- 今日のめあて
- 自分の考え
- 友達の考え
- 大事な文や言葉
- 今日のまとめ
- 振り返り

み	ふ	り	ま						
た	友	と	ね			.			.
い	だ	音	む	強	お	う	」		
で	ち	読	そ	く	す	ご	ど		
す	の	す	う	読	も	き	っ		
。	考	る	に	む	う	が	す		
	え	。	、	。	さ	お	ん		
	も		体		ん	そ	」		
	、		が	○	と	い	と		
	音		お	○	書	。	あ		
	読		も	○	い	↓	る		
	す		そ	○	て	声	か		
	る		う		あ	も	ら		
	時		に		る	○	ゆ	、	
	に		、		か	○	っ	お	
	入		ゆ		ら	○	く	も	
	れ		っ		、		り	い	
	て		く		力		。	。	

友達の考え
を書く。

				○		○		う	め	4/15
				・	理	自		音	グ	
	ゆ	ら	」	ゆ	分	読	ロ	す	す	
	っ	、	あ	う	の	す	」	い		
	く	こ	く		考	る	ブ	せ		
	り	の	び		え	か	み	ん		
	と	か	を		・	、	た	の		
	読	え	し		・	話	い	ラ		
	む	る	て		ゆ	し	な	ッ		
	。	は	」		っ	合	か	パ		
		ね	と		く	お	え			
		む	書		り	う	る			
		い	か		読	。	の			
		だ	れ		む		会			
		だ	て				話			
		か	い				文			
		ら	る				を			
		、	か				ど			